

臺灣總督府  
臨時情報部

# 報部

昭和三十三年七月二十一日

昭和三十三年九月二十五日臨時情報部  
昭和三十三年七月二十五日臨時情報部  
一月一日、十一日、廿一日發行



|    |    |    |            |    |            |
|----|----|----|------------|----|------------|
| 附錄 | 海外 | 地方 | 在臺華僑の動靜    | 集團 | 臺灣農業義勇團の近況 |
| 事  |    |    | （臺北高等商業學校） |    | （殖産局農務課）   |
| 變  |    |    | （臨時情報部）    |    |            |
| 日誌 |    |    | （州・廳臨時情報部） |    |            |
|    |    |    | （臨時情報部）    |    |            |

第三十二號



山！  
山！  
山！



大空の下に緑を踏んで——  
非常時克服、體力向上の  
意氣に燃ゆる鳥の健兒は勇む

# 臺灣農業義勇團の近況

殖産局農務課

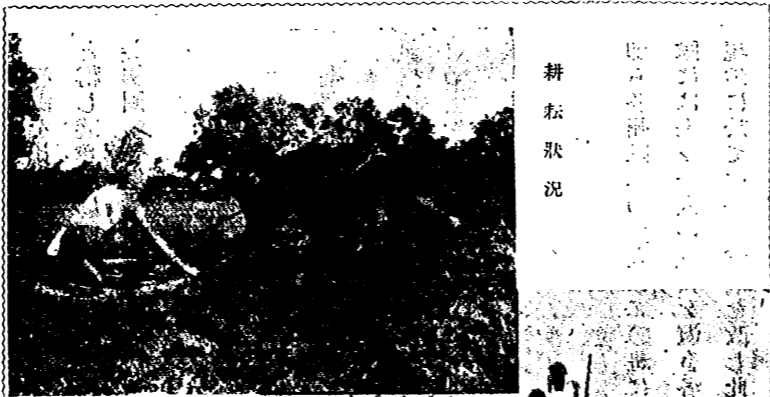


四月廿五日勇躍中支に出發した吾臺灣農業義勇團員一千餘名は海路無事廿七日午後二時支那大陸に第一歩を印し同日午後七時〇〇地たる蔬菜栽培地に到着した。

報國の意氣に張り切つた團員は翌廿八日息つく暇なく早朝から指導員指揮下に規律正しく作業に取掛り宿舎の整備、耕地の整理を行ひ直ちに作業を開始、一日も早く吾皇軍の將兵に新鮮な蔬菜の供給をなさんと懸命の努力をしたのである。

緻の勇士は軍當局から大いに歓迎せられ到着と同時に立派な宿舎を與へられた。それは栽培地の略ぼ中央

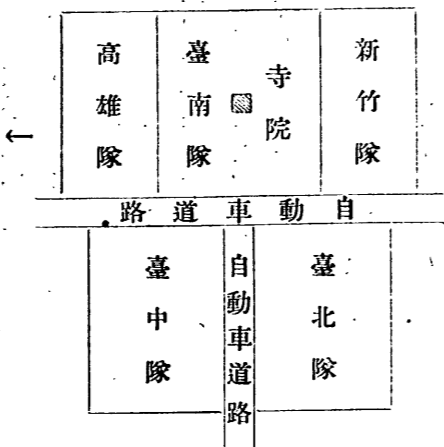
耕耘状況



龍骨車によりクワリクより灌水

に當る所に立派な寺院があり此を中心として附近の廢殘農家を修理して宿舎に充てられて居る。大體宿舎の割當は栽培地の割當に應じ成るべく其れに近い所に各州隊別に割當られて居る。

其の配列は大要次の圖の通りである。



臺灣を出發するまでは臺灣農業義勇團と稱しが現地に着いて後は其の名稱を廢し團員は重農夫と稱し義勇團は直ちに軍隊名に改め上海吉良部隊熊澤隊と稱することになった。

臺灣農業義勇團(一〇〇七人)  
團長 一人  
團長補佐 一人  
團員 一〇〇五人

臺北隊 二〇班 一班(二〇人)  
隊長一人 班長二〇人 班長一人  
新竹隊 二〇班 一班(二〇人)  
隊長一人 班長二〇人 班長一人  
臺中隊 二〇班 一班(二〇人)  
隊長一人 班長二〇人 班長一人  
臺南隊 二〇班 一班(二〇人)  
隊長一人 班長二〇人 班長一人  
高雄隊 二〇班 一班(二〇人)  
隊長一人 班長二〇人 班長一人

即ち各州隊二〇〇人を二〇班に分ち一〇人を以て一班を組織し各班は班長一人班員九名となし各隊には夫々一人の隊長を置き各隊を一人の團長が統率することとし全く軍隊組織となした。然し現地に於ては各州隊名を改し此に代ふるに隊長名を用ふることとなり又作業上組織をも次の如く

熊澤隊(一〇〇九人)  
團長 一人  
團長補佐 一人  
團員 一〇〇五人  
醫師 一人  
隊員 一〇〇〇人

川上隊(臺北隊) 一四小隊 一五班(一〇人) 一班(一〇人)  
舟木隊(新竹隊) 一四小隊 一五班(一〇人) 一班(一〇人)  
池田隊(臺中隊) 一四小隊 一五班(一〇人) 一班(一〇人)  
津田隊(臺南隊) 一四小隊 一五班(一〇人) 一班(一〇人)  
中野隊(高雄隊) 一四小隊 一五班(一〇人) 一班(一〇人)

に改め更に庶務會計をなすもの一人及醫師一人を増員することになった。

隊に隊長一人を置き小隊に小隊長一人、班に班長一人を置くことは前の組織と同様である、現地に於ては従來團員と稱してゐたのを隊員と呼ぶことになつたわけである。

隊員は其の大部分が臺灣では團體生活をやつた経験がないので非常に此の種の生活に興味を持ち而も二十四、五歳前後の元氣潑刺たる青年ではあり毎日の衣食住に心配はなし今迄家庭にあつて營んで居た小家族生活が急に大家族生活に變はり大人數で共同作業をやる様になつたものだから元氣にまかせて面白半分は談笑の中に作業はぐんぐんと進んでゐる。喜ぶものこそあれ不平を言ふものは誰一人ない。

臺灣から遙々持参した葱の苗も現地に着いた四日目に移植を了し事變で荒れ果てた既耕地は瞬く間に除草を終り整理を済まし種を卸し、其の餘力を以つて立派な農道まで造り上げた其の奮闘振には感服の外はない。

道路補修状況



トラックに依る肥料運搬

隊員は朝五時半起床朝食を済まし皇居  
遙拜をなし、是か終つて隊長の隊是朗讀  
を復誦し六時炊を擔いで作業に出で正午  
より二時迄休息、七時に作業を終へ風呂  
夕食を済まし十時就寢の日課である其の  
間夜は不寝番あり門衛あり、全く軍隊生  
活其のまゝである、隊規に反するものあ  
らば容赦なく營倉に監禁することとなつ  
てゐる。營倉とは名のみで實は牛舎であ  
る。

此の生活こそ吾臺灣青年諸氏にとりて  
心身共に非常な訓育、修練となるわけだ  
ある。即ち皇民精神、公衆徳義、共同精  
神、一致協力、相互扶助、規律、衛生、  
等各般に亘り修練を積む好機會である。  
最近栽培作業の進むにつけ地域も擴大

灌水状況



作物の手入



し諸般の運搬、通信、連絡等漸繁となつ  
たので軍當局より、トラック三臺、ハイ  
ヤー一臺、自動三輪車一臺を與へられ一  
層活動能力を増じてゐる、隊員中には名  
運轉手あり名理髪師あり、大工、左官、  
鍛冶等に経験ある者がある。此んな團體  
生活をなす場合には此の種特技を有つ者  
のあることは至極便利である。

現地には既設の灌溉設備はないが栽培  
地内には多くのクレークが掘り廻らされ  
てゐるので手近に此の水を搬送又は龍骨  
車で灌溉用水にする便がある。  
栽培地一帯は雨期は排水不良地である  
から何れも高畦作りである。  
今や農業報國の大使命を帯びて江南平  
原に鉞打つ我が臺灣農業義勇團の事業も

臺農健兒の歌

♩=120  
 明朗 =  
 四分ノ三

成田巖巳作詞作曲  
 19.6.8 滬上 = 於テ

(一) ミガケレイラウニツボンセイシン  
 フレラハタイノウイセンケンヂ  
 レイメイキースタイルクフメバム  
 ネーハタカナリチシホーハーラドル

- 一 勇きに駆け日本精神  
 神け玲瓏日本精神  
 我等は豪農一千健兒  
 黎明さす大陸踏めば胸は  
 高鳴り血潮は躍る
- 二 國難恐れず捨身の努力  
 進め雄々しく大地を蹴つて  
 我等は豪農一千健兒  
 猛る國難うち寄せ來るも  
 斷乎と攘へ捨身の努力
- 三 日の丸高く一致協力  
 仰げ日の旗背空高く  
 我等は豪農一千健兒  
 東をろがみ協力一致  
 永久に護らむ祖國の譽
- 四 名譽の礎築に真心こめよ  
 受けよこの品泉軍勇士  
 我等は豪農一千健兒  
 鐵の腕に眞心こめて  
 蒔いて育てた譽の礎築
- 五 明け行く亞細亞の對我等  
 歌へ高らかに亞細亞の空に  
 我等は豪農一千健兒  
 今し江河に夜は明け初めて  
 沃野萬里は希望に光る

凡ゆる困難と戦ひて漸く端緒についた。今後農場經營には更に幾多の試練を経なければならぬ。而してこの重大使命と全國民の期待とを双肩に荷つて全島より撰り拔きの健康青年一千餘名は赫々と照りつける眞夏の太陽を赤銅色の肌を受け乍ら鋤を取り、鍬を振り、大地の香に咽び乍ら元氣一杯で働いたる。皇軍將士に見事な蔬菜を——我等の手で——名譽の蔬菜に眞心こめての團員のスローガンは高らかに江南平原に轟き渡り日一日と大地は輝く、希望をはらませて行くのである。

附記

臺灣農業義勇團は來着以來氣候風土の激變、交通不便等の爲幾多の困難に逢着し、去月末には二十六名の病氣事故者を返還する等相當憂慮さるべき状況に在りたるも團員一同は克く之等の困苦缺乏に堪へ、只管農業報國を「モットー」に精進し現在に於ては既に五十餘町歩に蔬菜の播種植付を了し、來月中には皇軍將兵に之が供給開始の豫定なるが近時本計畫一般に周知せられ各方面よりの觀察或は慰問者相當數に上りつ、あり孰れも眞摯なる作業状況に感激し之を初期の目的たる暫定的事業たらしめず國家百年の大計として永久的に大陸經營の素地たる農業移民たらしむべしとの要望愈然として起り幾に讀賣新聞社に於ては本事業を一般國民に紹介して大陸經營への認識資料たらしむる意圖の下に作業其の他の状況を「フィルム」に收むる處あつた。

此等臺灣健兒の熱意と眞剣さに感激した成田氏は熱情を傾けて「臺灣健兒の歌」を作詩曲し健兒のももに贈られた今や既に綠も濃き沃野に化した廣野に若人等は感激をこめて高らかに歌つてゐる。「臺灣健兒の歌」は左の通りである。



# ●●集團作業●●

臺北高等商業學校

一〇

當校に於て、去る七月五日より九日まで五日間、實施せる集團勤勞奉仕の實蹟に就て稽へて見よ。先づ實施に先ちて、生徒に其の趣旨を充分に徹底せしめて置くことが極めて緊要と思つて大要次の如き訓話をした。

(前略) 吾等ノ勤勞奉仕ハ、集團生活ニ依ル心身ノ鍛鍊ガ其ノ主要ナル目的デアルコトハ申スマデモナイ。臺北高商ト云フ一團ガ、一定ノ規律ニ從ツテ、寢食ヲ共ニスルコトニ依テ、平素修得シ難キ貴重ナル體驗ヲ得ント欲スルノデアアル。此生活ハ勿論窮屈デ、不自由デ多クノ苦痛ガ伴フノデアアルガ、今吾等ハ、此不自由ヲ故意ニ求メテ、之ヲ忍ブ修練ヲ積マントシテ居ルノデ、同ジ集團生活デモ、登山ノてんと生活ヤ、海水浴場ノ合宿等トハ大ニ趣ヲ異ニシテ居ル。之等ハ主トシテ興味本位デアアルガ、勤勞奉仕ノ集團生活ハ寧ロ行的ノモノデ好ンデ、乏シキヲ求メテ居ルノデアアル。次ニ吾等ハ勤勞奉仕ヲ通ジテ勞働ノ體驗ヲ重ネ、勞働ノ貴重性ヲ理解シ、勞働ニ馴染ム習性ト、社會奉仕ノ精神ヲ養ハントスルノデアアル。サレバトテ諸子ニ將來勞働ニ從事セヨト申スノデハ無イ、唯之ヲ體驗スルコトガ、諸子ノ人格完成ニ缺クベカラザル要件デアルカラデアアル。殊ニ勤勞作業ヲ



(地定豫園町端川) 況 狀 業 作

通ジテ、困苦ニ堪フル習性ヲ涵養シテ、剛健ナル國民性ヲ練成セントスルノダ。而シテ勤勞奉仕ハ其名ノ示ス如ク、滅私奉公ノ誠心ヲ以テスルニ非サレバ出來ルモノデ無イ、此ノ炎天ノ下デ手辨當持參デ勞働ニ服セントスルガ如キハ、自己ヲ中心トスル考ヘ方デハ、馬鹿ヲシクテ本氣デ行ハレルモノデハナイ。斯カル不自由ナ、難儀ナ馬鹿シク思ハレル様ナ事ヲ敢テ爲スノハ、固ヨリ容易ナコトデハ無イガ、然シ誰ニデモ容易ニ出來ル様ナコトナラ、苦痛モ心配モナイノダ、出來難イコトヲ斷乎トシテ行ツテノケル所ニ、心身ヲ鐵石ノ如ク鍛へ上ル道ガ求め得ラル、ノデア

ル。斯カル趣旨ノ下ニ、寧ロ信念ノ下ニ今回ノ集團作業を實施スルノデアアル、政府ガ獎勵スルカラ止ムヲ得ズ實施スルノデハ無イ、又社會



(路道遙道町門南) 況 狀 業 作

思潮ニ迎合センガ爲ニ實施スルノデハ勿論無イ。從ツテ吾等ノ此施設ニ就テ世間ノ人ガ嘲笑シヨウトモ、賞揚シヨウトモ、何ント批評シヨウトモ、ソナナコトハ吾等ノ關スル所デ無イ吾等ハ躍進日本ヲ脊負テ立ツ世界ノ檜舞臺デ元氣デ活動スル一剛イ日本人ニ爲リタイカラデアル、日本人此處ニアリト呼ビタイカラデアル。(後略)

次で生徒主事から實施の日程、行事、其他細目に亘る注意を與へて、事前の準備と陣容とを整備した。

訓話に於て述べた如く、當校の勤勞奉仕は規律ある集團生活に依る訓育に重點を置いたが爲に、作業開始の前日に生徒を學校に召集し、五日間校内で團體生活を爲さしむることにした。職員も亦起臥寢食を共にすることとし、夫れ合宿の部署を定めたが、職員生徒共に、當

日既に充分張り切つて、天を衝く意氣込が感知せられた。

作業は五日の午前より始まつた。作業量の都合により二箇所に別れて實施するの止むなきに至り、第三學年、貿易専修科の生徒約七十名を小南門三線道路南側の道遙道路の開穿に、第二、二學年生約百五十名を川端公園豫定地の地均し工事に従事せしめた。何れも作業時間は、午前中に三時間、午後二時間半、此の時間は大體嚴守せられた。作業に對しては、生徒は非常に熱心にして、誠意を以て之に當り、所謂油を賣るとか、擬裝的とか言つた様な行動は殆んど見なかつた。最終日の働き方等は、全く自己を忘れたもの、如くにも感ぜられる程であつた。作業中屢々驟雨の襲來を受けたが、之には一方ならず苦しめられた、生徒の希望もあり、雷雨中も作業を續けたが、一抹の冷氣を覺え能率は反つて増進した。驟雨時の外は、略百十度の炎暑が續き、その上、照り返しの強い、焼け付く様な石河原の勞働は、忍苦の行として充分であり、勞働の貴重性を味ふにも充分であつた。

五日間に亘る作業の分量に就ては、當校は素より重大視して居る譯でないが、大體豫想通り進捗した、能率は、初日と最終日とが最も高く、第三日目が最も低下した。

集團五日間に於ける、日々の起臥寢食其他の行事は、左記の通り實施した。

|    |      |                 |
|----|------|-----------------|
| 起  | 五、三〇 | 集合迄ニ洗面、用便等ヲスマス  |
| 校庭 | 六、〇〇 | 國旗掲揚、皇居遙拜、ラデオ體操 |
| 朝食 | 六、三〇 |                 |



|      |               |              |                         |                |      |      |           |      |           |      |      |
|------|---------------|--------------|-------------------------|----------------|------|------|-----------|------|-----------|------|------|
| 出    | 午             | 晝            | 午                       | 午              | 歸    | 校    | 水         | 夕    | 映         | 就    | 消    |
| 發    | 前             | 業            | 食                       | 業              | 後    | 庭    | 浴         | 食    | 書         | 寢    | 燈    |
| 七、〇〇 | 八、一〇—二、〇〇     | 一一、三〇        | 一二、〇〇—三、〇〇              | 三、〇〇—五、三〇      | 六、三〇 | 六、四〇 | 六、四〇—七、二〇 | 七、三〇 | 八、〇〇—九、〇〇 | 九、〇〇 | 九、三〇 |
|      | 南門部隊ハ七、四〇ヨリ始ム | 作業五十分毎ニ十分間休息 | 南門部隊ハ學校ニ歸リテ午食午後三、〇〇再ビ出發 | 南門部隊ハ三、三〇—六、〇〇 | 國旗降納 |      |           |      |           |      |      |

團體生活に不馴の生徒達には、時間の餘裕が無過ぎはしないかと思はれたが、そこが學校の狙ひ所であるのだから、強いて敢行した。實施して見ると、時間はよく守られ、規律には服する、意外の好成績を擧げることが出来た。短時日ではあつたが、規律節制に服し、缺乏に堪へる鍛鍊を積み、

心身の修養上に尠なからざる効果を收め得たと思ふ。殊に生徒が豊富なる陶冶性と、弾力性とを示したことは、大いに意を強うする所で、吾人の覺悟を新たにしむるものがあつた。

集團作業に關し、最も心配したものは衛生であつた。斯かる炎暑の折柄ではあり、設備は不完全であるのだから、病人の出ることを恐れた、然し幸に病人らしき者は一人も出なかつた、恐らく、全員が緊張して事に従つた結果でもあらうが、生徒の體位、健康が最近著しく増進した結果とも見らる。最終日の午後の作業は中止し、器具其他の後始末を爲し、午後一時解散式を擧げ、一同凱旋勇士の如く、壯快なる氣分を滿持して別れた。尙ほ此程集團作業は今後も計畫せられ又計畫せられるべきであらうが、後日の參考として次の事項を指摘して置かう。

- 一、睡眠——消燈は豫定の通り實施したが、實際消燈時に寢に就く者は殆んど無かつた、激しい勞働に服するには睡眠が不充分である。此の點將來工夫を要すべきだ。
- 二、炊事——今回は學校の備人を總動員し、外に若干の入夫を雇入れて炊事を爲さしめたが、將來は、衛生上の見地からしても、献立、監督等は生徒をして之に當らしむる所まで進むべきだと思ふ。
- 三、費用——食費として金貳圓貳拾錢を生徒各人より徴收した。勤勞奉仕としては手辯當持參もさることながら、學校の集團作業は特種の意味を有するから、歐米諸國のそれと同じく、政府の補助を受けてもよいと思はれる。

# 事變一周年 在臺華僑の動靜

一六

## 臨時情報部

日支兩國は同文同種であり、善隣たるべき間柄であるにも拘はらず、容共抗日を採る蔣政權は、遂に日支事變を惹起した。我が作戦により、陸に、海に、空に、確保しつ

ある絢爛たる戦果は、誠に東亞史上未曾有のことで蔣政權の誤れる政策を物語る。しかも蔣政權の迷夢は尙も醒めず、極東に策謀する國々の「對支援助」による「日本の疲勞」を在支利權の獲得「にいふ手に乗せられ、捨鉢的な長期抗戦を豪語する」ことは、正しく東亞民族の公敵である。自己政權維持に狂奔し、黄河の決潰等敢て自國民の發炭の苦しみを辭せざる眞唯中に、今や支那民衆の人心は、暴虐蔣政權より離れて、北支、中支、厦門に臨時政府、維新政府、治安維持會を樹立して、茲に東亞永遠

の黎明を告げた。かくして支那民衆が并舞して和樂を謳ふ裡に早くも日支事變一周年の思出多き日が廻つて來た。

臺灣在留華僑も東亞の盟主たる日本の義理堅き保護の下に結ぶ故國への夢も新生の歡喜そのものであり、醒めて身の安居樂業の出来る臺灣の天地に居る幸福に浸つてゐる。行け、日支兩國共榮の道。感謝の念を新にする一端として、全島各地の華僑は、この日、神社に参りて、皇軍の武運長久を祈り、更に黙禱して慰靈の誠を捧げ、又は記念講演會を催して、熱烈に日支の提携すべきことを南洋の華僑にも響けし絶叫する所があつた。因に各地の概況は左の通りである。

### 臺北華僑新民公會

1. 臺灣神社参拜  
午前七時半會長容建麟以下八十二名公會に集合臺灣華僑新民公會並に臺北公會の旗を先頭に徒歩にて臺灣神社に参拜武運長久を祈願す。
  2. 事變戦没者慰靈祭参列  
神社参拜の歸途圓山運動場に至り陸軍墓地に於ける支那事變戦没者慰靈祭参列午前十一時四十分宮前町に於て解散す。
  3. 時局認識講演聴講  
午後八時更に公會に集合會長より特に北支高等主任に對し一場の講話を請ふところあり、森下主任より在臺華僑は安心して生業に就き充分我が帝國を信頼して可なりとて事變下に於ける華僑の心構に付諭すところがあつた。
- 同夜の出席者會長以下六十二名にして午後十時四十



臺灣神社参拜(臺北)

分解せり。

4. 感謝電發送

一周年記念日に際し特に皇軍將士に感謝の意を表する爲總公會長容建麟の名に於て

- 一、北支派遣軍最高指揮官寺内大將閣下
- 二、中支派遣軍最高指揮官畑大將閣下
- 三、上海海軍陸戰隊本部
- 四、廈門海軍陸戰隊
- 五、第三艦隊及川司令長官閣下
- 六、陸軍大臣
- 七、海軍大臣
- 八、南支派遣艦隊司令官

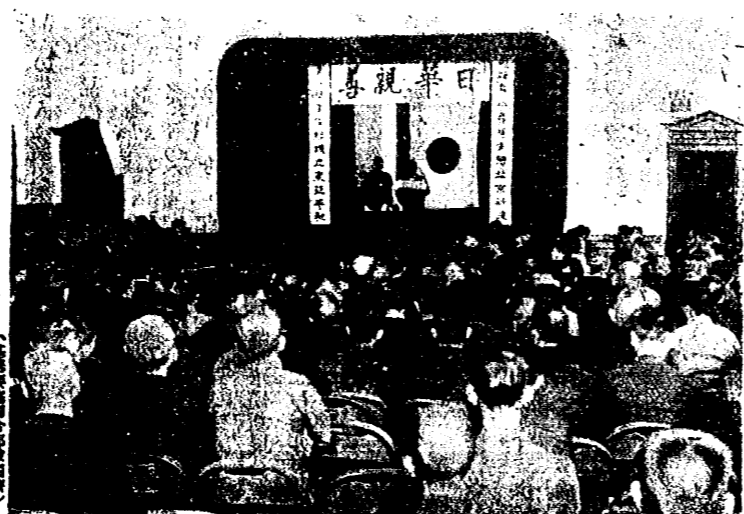
以上各派遣軍司令官に對し七日午前十一時十分左記の如く打電せり。

記

「支那事變一週年記念日に際し臺灣在住華僑は聖戰の日本皇軍に對し深甚なる感謝の意を表し併せて皇軍の武



（北案）會演講識認局時



（基）會演講念記

運長久を祈る。

基隆華僑新民公會

- 一、基隆神社參拜祈願日本皇軍武運長久並東亞平和  
この日午前七時三十分華僑新民公會事務所前に集合、陳會長を先頭に約百名の會員は途中整列行進をなし心からなる祈願をなしたのである。
- 二、華僑新民公會主催記念講演會七月七日午後八時三原要塞參謀を招き意義ある講演會を開き、華僑駱庭川氏開會の辭を述べ皇居遙拜、中華新政府遙拜國旗敬禮、中華五色旗敬禮、日本皇軍死者英靈に對し一分間の黙禱を捧げたる後、參謀より「日支事變の原因」發端並に今後の情勢「成行」を題する有益なる講演あり、會長陳立卿氏の閉會の辭を以て終了したが、これに因り一段と時局に對する認識を深めたことは疑なきところである。
- 三、日本出征軍人慰問品募集

七月七日より十日に至る四日間を以て煙草、マッチの袋入れ一六七袋を集め得て好成績に終了した。

四、一品献納報國運動  
七月七日華僑會員家庭より廢物中の鐵、銅、鉛、錫アルミ等の金屬を一家一物ミ云ふ主旨により献納したのである。

五、更に七月七日午後八時、基隆市華僑新民公會會長陳立卿氏より檄文を南洋諸同胞に飛ばし海外の華僑に對し呼びかける所があつた。

**新竹華僑新民公會**

新竹新民公會員三十六名打揃ひ長族(新武運長久)を先頭に新竹神社參拜皇軍の武運長久祈願をなす共ニ支那事變勃發一周年記念獻金ミして十五圓を市兵事係に差出し獻金の手續を執つた。

**苗栗華僑新民公會**

一 北白川宮能久親王御遺跡地參拜



(栗苗) 拜參地跡遺御



會公民新僑華中臺

七月七日午前八時三十分苗栗新民公會々長曹寬祥以下三十名打揃ひ苗栗街將軍山、靖墓宮御遺跡地に參拜記念碑前に於て會長は左の奉告文を朗讀した。

**奉告文**

中國には大日本帝國の絶大な御援助に依り北京に臨時政府南京に維新政府の成立を見たり現在日華の提携に東洋永遠の平和確立に其の基礎益々鞏固を加へつゝあると共に一方專政權を打倒し其れより離脱して一致團結せる我々は好く新政府を支持し日華親善に貢獻すべく努力せんことを期す。

**二 華僑新民大會**

午後四時華僑新民公會事務所に會員三十八名參集し日華兩國旗に對し敬禮し、皇軍の武運長久、戰死者の英靈に對し默禱を捧げ次いで臺灣日日新報社通信員黃德基氏より「東洋ニ歐洲ニの特異性から見た東洋民族の自覺」ミ題する講演あり、一同時局に對する認識を深め有意義に終了した。

**臺中華僑新民公會**

一 神社參拜

臺中市在住華僑は會長賈清機以下會員四十四名及國語講習生四十五名一團となり會長指揮の下に午前七時三十分臺中神社に參拜し日本軍戰歿勇士の冥福を祈るに共に出征將士の武運長久を祈願した。

### 豐原華僑新民公會

#### 一 神社參拜

七時七日午前七時四十分公會事務所に參集し會長蔣欽銀以下三十二名は豐原神社に參拜せり。

#### 二 記念懇談

會長蔣欽銀外十六名新民公會事務所に於て午後八時四十分より九時五十分迄懇談會を開催せり。  
會長、副會長より日支提携、勤儉貯蓄を奨励し、更に在任華僑は言行を慎み以て帝國の高恩に感謝すべきことを述べて臺灣軍司令官、臺灣總督宛感謝の意を表すことを決議した。

### 彰化華僑新民公會

#### 一 神社參拜

午前十時より役員及會員計三十七名は會長鄧冰樑引率の下に彰化神社に參拜し「祈皇軍武運長久」。「祈東洋平和早急實現」を大書せる二個の額を奉納し皇軍の武運長久を祈願し午前十時三十分散會した。

### 臺南華僑新民公會

臺南華僑新民公會々長張相外十五名の役員は七月七日午前十時臺南神社に參拜し出征皇軍將士の武運長久及東洋の早急平和を祈願した。

### 嘉義華僑新民公會

嘉義華僑新民公會々長黃友生外二十四名の役員は七月七日午前九時嘉義神社に參拜し、支那事變一周年記念武運長久祈願祭を執行し、更に同十時を合圖に一分間黙禱を捧げ戰歿將兵に感謝の意を表する所あり、又理事劉森斌の發議にて北支寺内軍司令官、中支畑軍司令官、及川第三艦隊司令長官に對し夫々「皇軍戰勝を祝す」祝電を發した。尙會長より日本の國策に相應し報國貯蓄をなす要あるを提唱し一同之に賛成した。

### 高雄華僑新民公會

#### 一 神社參拜

午後四時會長黃再德以下二十二名高雄神社に參拜し、蔣政權の撲滅並に東亞の早日安寧を祈願した。

#### 二 記念講話

午後五時三十分公會々館に會長以下幹部二十名集合し記念精神講話會を開催、理事高租培より蔣政權の撲滅月華親善の促進に關する講演あり午後六時十分閉會した。

### 花蓮港華僑新民公會

花蓮港華僑新民公會は七月七日支那事變一周年記念日に當り午前七時花崗山に集會し、街主催の皇居遙拜式並に支那事變戰歿者慰靈祭に參列し、終了後一同は直に花蓮港神社に參拜し皇軍の武運の長久蔣政權撲滅を祈願した。

### 臺東華僑新民公會

臺東華僑新民公會は午前八時會長以下三十名臺東街主催の臺東神社に於ける武運長久祈願祭に參列した。



花蓮港華僑新民公會



州・廳臨時情報部

### 支那事變に關し

#### 執りたる措置

臺南州臨時情報部

#### 一 支那事變一周年記念行事の遂行

七月七日意義深き支那事變一周年記念日を迎へ本州下各都市に於ては軍官民協力一致記念行事を遂行せるが州に於ても早朝より國防義會所屬飛行機臺南第一號を以て

全州下に亙り國民精神總動員を再認識せしむべく消費の節約、貯蓄の奨励、國債の應募、代用品の使用、廢品の利用、二戸一品獻納等に關する宣傳ビラを撒布し百五十萬州民をして聖戰の意義及時局の重大性を更に深く認識せしむるに共に戰歿將兵の英靈に對し無限の感謝と讃仰を捧げ併せて出征將兵の勞苦を偲ぼしむる所ありたり。又午後八時よりは本州主催の下に臺南神社外苑に於て時局に關する映畫會を開催せるが觀衆無慮一萬餘人に達し時局推移の認識を深むる所ありたり。

### 銃後の花蓮港

花蓮港臨時情報部

#### 郷軍林田班の出征軍人並遺家族慰問

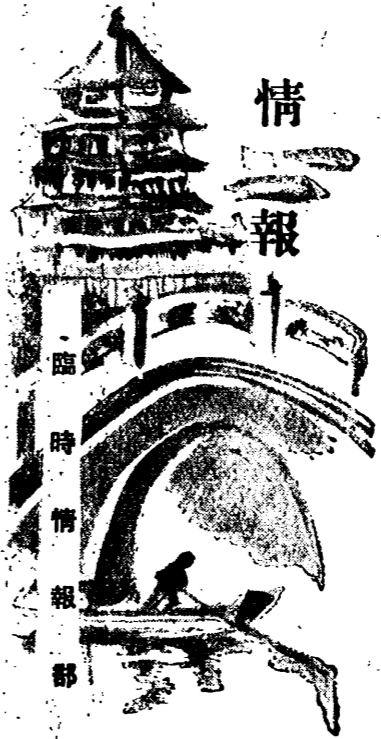
郷軍鳳林同會林田班に於ては長期聖戰に奮戦しつゝ、ある出征軍人の士氣を鼓舞するに共に遺家族を慰むるため六月二十三日林田村よりの出征兵士に對し慰問文と共に慰問袋を夫々發送し遺家族に對しては大谷班長外役員各戸に訪問し慰問の詞と共に慰問金一封宛を贈り。更に六月二十五日には林田小學校に於て女浪曲師を招聘し遺家族慰安會を開催せるが遺家族七十六名にして齊しく郷

軍の厚意に感謝し居りたり。

#### 花蓮港國民貯蓄會結成

花蓮港廳(各郡を含まず)に於ては長期戰に處する銃後國民の務として國民貯蓄奨励の趣旨に則り非常時財政經濟政策に協力し貯蓄報國の實を擧ぐる爲花蓮港廳國民貯蓄會を結成し六月二十一日より實施中なるが貯蓄額一定の額に達したる場合は同會幹事に於て各貯金人の名義を以て國債、貯蓄債券を購入し郵便局に之が保管を依頼し保管證は幹事に於て保管するものとし不慮の災害、退職、轉勤、死亡等已むを得ざる場合の外は本貯蓄を中止し又は減額若くは拂戻をなさざるものせり。

# 海外情報



臨時情報部

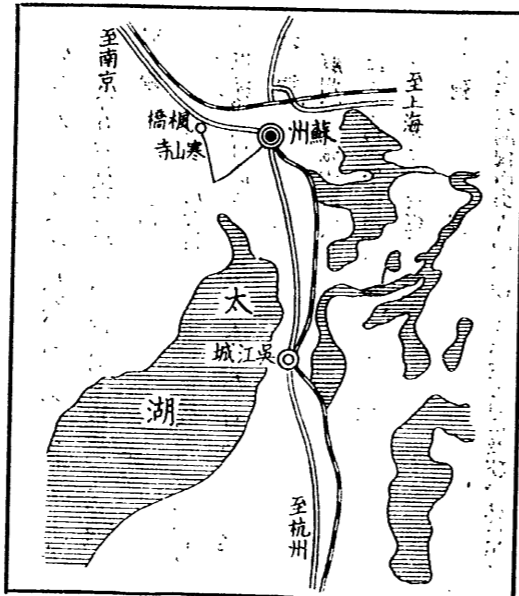
## 蘇州だより

蘇州は古名を胡蘇または平江といひ由來傳統の舊都として遠く吳の都城で越王勾踐と吳王夫差とが輸贏を決した地として知られ、其後幾變遷を経て清朝に至り省城として重きをなしたるも民國に入り政治都市として面目を南京に奪はれ僅かに風光の美を傳説に富む古都として近代人に知られたるに過ぎなかつた。

蘇州は古名を胡蘇または平江といひ由來傳統の舊都として遠く吳の都城で越王勾踐と吳王夫差とが輸贏を決した地として知られ、其後幾變遷を経て清朝に至り省城として重きをなしたるも民國に入り政治都市として面目を南京に奪はれ僅かに風光の美を傳説に富む古都として近代人に知られたるに過ぎなかつた。

我國人には胡蘇城外の寒山寺楓橋なご「月落も烏啼いで……」の文句で知らるゝ有名な所である。北の文雅の地は北京であるに對して、南のそれは蘇州である。氣候溫和且人情風俗の醇雅にして人は人情敦厚で上品である。支那要人も老後を此處に養ふのを慰安してゐる。人口は約四十萬蘇州、城は殆ど長方形で南北二里、東西一里といふ。京滬鐵道・蘇嘉鐵道の交叉點であり、又大運河と蘇州河の會合點に位し、近く大湖をひかへ、パス

ウエイも各地方に通じ南京・上海間での軍事上交通上の最主要點である。



産物は古來より絹織物の産を以つて有名である。又有

名な杭蘇米の産地であり、外に紫壇細工がある。

今般二十七年振りに省政府の設置を見茲に再び省政の中心地となりたる爲め戦後の施設も先づ省城よりこいふ譯にて諸般の復興大に見るべきものあり、省長陳則民は維新政府の方針に基き政治機構の改編に着手し、各地方縣制の復活に奔走中である。

尙先般省政府成立に先ち五月中旬軍務機關支部設置せられ宣撫班と共に政治、經濟各方面の指導役となり復興整備に協力中である。既に事務を開始せる官公署及民衆諸施設及其の概況は次の通りである。

- 一 蘇州自治委員會  
昨年十二月三日成立、混亂直後の時局收拾に當り今日に及べるが近く縣公署に接收せらる。
- 二 地方裁判所  
六月一日開始、民刑事諸般の事務を始め毎日新聞に公判事項又は判決等を廣告して居る。
- 三 郵政

六月十三日より開始、一般郵務及爲替事務の取扱を  
してゐる。

田 電 信

官私報を問はず華文、歐文、和文共各地向發受信可  
能となり六月六日以降國際電信をも取扱つてゐる。

五 電 話

元交通部電話局を自治委員會にて接收し、本年一月  
以降通話可能となり現在加入者約二百五十である。

六 電 燈

蘇州電氣廠の經營にて送電し居れるも最初は收支償  
はざる爲め午後四時送電を始め午後十二時迄であつ  
たが最近終夜燈に延長された。

七 教 育

小學校開校中のもの十校生徒三千名に及び、外に寺  
小屋式のもの相當ある由である。從來の教育「イデ  
オロギー」三民主義抗日を演算し、實業班自治委員  
會編纂による教科書により親日教育を施して居る。  
備か數箇月であるが日本語の答案なき驚く程の進歩



胡 蘇 外 城 寒 山 寺

商人共に「トラック」により運搬してゐる。

九 治 安 維 持

省政府設立以來警官練習所なきを設け素質の向上に  
努めて居り最近師團の歸還により警備又充實せられた  
め城内外近郊共に匪賊の横行大いに減少したが職補  
の貧民階級が多い爲夜に入れば各民家は堅く門を鎖  
して往來又人なく保安隊が二三名宛棍棒を持ち辻々  
を警備してゐる。

各城門では依然嚴重なる身體検査が行はれ午後八時  
閉門して居る。

一〇 其他町の復興状態

最も顯著な復興を示して居るのは商店街の整備にし  
て、商品の種類も多くなり、陳列も商店らしく間屋  
街には貨物を満載せる「トラック」等も盛んに往來し  
てゐる。

近時中流以上の歸還者も漸増の傾向にて往來の人柄  
も大部よくなつてをり、醫者の復業廣告なきが新聞  
を賑はして居る。

を示してゐる。

目下の處日本人小學校はないが居留民家族の來蘇を  
待ち、開校の豫定である。

八 交 通

(1) 軍の運轉に係るもの

イ ガソリンカー

將校及び急用連絡兵に限り乗車を許されてゐる

ロ 汽車

貨車が大部にして旅客用として二二輛の客車を  
連結してゐる。

(2) 民間交通機關

イ バス

日本人經營大道バスがあり、普通常熟經由、上  
海蘇州間往復してゐる。

ロ タクシイ

支那人經營にて上海蘇州間を往復してゐる。

ハ トラック

軍運轉の汽車は普通商品の取扱困難なる爲目支



活動常設館も既に三軒、旅館料理屋は急増し支那人  
藝者嚮導者如きも氾濫状態にて、自治委員会にては  
花柳界の營業規則や取締令を發した。  
國は亡びても青樓の歡娛を忘れず享樂する國民性を  
窺ふことが出来る。

### ◎暗黒ソ聯の實相更に明瞭

リュシコフ大將在京記者團との會見談  
肅清て内政失敗糊塗

去る六月十三日ソ聯邦におけるスターリンの毒手を逃  
れて滿ソ國境から脱出したソ聯邦極東地方内務人民委員  
部長官リュシコフ・ゲンリツヒ・サモイロウイチ三等國家  
保安委員(三等大將)はさきにはソ聯邦をなぜに脱出した  
かについてその心境、ソ聯邦内におけるスターリン獨裁  
の暴狀、極東軍備なきに關する詳細な手記を發表して秘  
密政策による暗黒ソ聯の内情を白日下にさらけ出して世  
界的センセーションを巻き起したが、その後リュシコフ  
大將は東京に現れ、十三日午後二時より山王ホテル新館  
ロビーにおいて東京外國新聞記者團と會見、引續き同三

自分も古いチエカの委員であるが、その當時から一  
緒に行動してゐた連中がソヴェートの各地からつぎ  
つぎにモスコに召喚されて檢束されてゐる、かう  
いふ事實が眼前にあつた、たゞへば古いチエカの委  
員で有力なレニングラード州内務人民委員部長官で  
あるザコフ、同じく古いチエカの委員であるウクラ  
イナの内務人民委員レプスキミイふやうな人  
達が最近やはりモスコに召喚されて同じ運命に陥  
つたといふことを直接知つてをり、今度いよいよ自  
分の番だといふことを直感したから脱出を企てた、  
これが第一の原因である、他の一つの最も重要な原  
因は自分はスターリンの政策に極力反對してゐるこ  
といふことがそれである、ミにかくスターリンの實行  
してゐる政策は全く國家を毒するもので國家を危殆  
に導いて行くところの政策であるといふことを自分  
は確信してゐるからである、むしろ後者が最も重要  
な原因と認むべきである。  
自分の脱走経路はウスリー南部のボシエラトの國境

時二十五分より午後四時四十五分までの一時間二十分に  
互り茂木通譯を介し、東京新聞記者團と會見した、この  
會見においてリュシコフ大將は記者の質問に答へて脱走  
の原因、肅清の實情と目的、ソ聯の軍備状態、對蔣援助  
の實情、反日宣傳なきについて左の如く明快に答へソ聯  
の實相はこゝにさらに明瞭なつた。

問 脱走の直接の動機と脱出の経路ならびに現在の心境  
について伺ひたし。

答 こちらへ脱出する直接の動機といふのは自分が危険  
に直面したといふことがその第一の原因である。し  
かしてモスコから私に招電が来てモスコに歸つ  
て他の地位につくやうな電報が来た。それは先にス  
ターリンは極東共産黨の首腦者極東中央委員會の書  
記長スタツェウイチ、それから同執行委員會議長  
レフコフコヌラウオフ、これらの錚々たる共産黨  
員がいつれも同じやうな運命に遭ひ——つまりモス  
コからの電報で召喚されてその結果みなモスコ  
で檢束してしまつた、さういふ事實から考へてまた

を越して来た、その時自分は巡視をするといふやう  
な官命を帯びた形でそのまゝ、國境を越えて脱出をし  
た、大體今の心境についてはこれは先ほさ述べた脱  
出原因のスターリンの政策に對する反感、つまり自  
分の政治的の信念からだといふ答へすれば十分だと思  
ふ。

問

肅清工作の實情とそれに関する感想如何、肅清の眞  
の目的はスターリン政權維持のためか、あるひは強  
化か、または經濟政策の失敗を隠蔽せんがためか。

答 第一の肅清工作がいかに實施されたかといふ最初  
はトロツキー派に、また右翼のものに對する彈壓  
といふことが目的であつたが、單にこれらに屬してゐ  
るものばかりでなくトロツキストあるひは右翼的な  
政策支持者、これらに對する同情者をも片づけに行  
くといふ方針で行つた、それからしばらく時機を見  
てスターリンの政策に疑問を抱きその政策實施に關  
して動搖的な態度を表示するものを片づけるといふ  
方針に移つたのだが、最後の段階では黨の中央機

關つたり共産黨の幹部指導者、十月革命ならびに國內戰當時スターリンに味方して一緒に仕事をしていた連中を片づけることに着手した、言葉を換へていへばスターリンが新しい道に進む際の邪魔者を取除かうといふので、つまり自己の獨裁政治を行はんがために自己の獨裁を妨害するといふ疑を有する要素に對して肅清彈壓を加へたものである、要するにスターリン獨裁確立のために黨を犠牲にするといふ形になつたのである、自分の獨裁政權を確立するためには盲目的に服従する分子、すなはち若いものに依存するといふ政策をもつて進んだ、自分の個人的な感想は要するに肅清工作はスターリン反對分子を片づけようとするのがその目的であると思ふこの冒險的な對内的、對外的兩政策に反對する分子を片づけることによつて自己の對内的政策の失敗を糊塗しようとしてゐる、それには戰爭によつて活路を見出さうとしてゐる、換言すればこの肅清工作なるものは戰爭への目的をもつて進んでゐるもの、こゝに考へ

られる。  
なほこの肅清に關してスターリンは國民の敵から國民を救出せんがために行ふのであると説明してゐるが、その結果何十萬、何百萬といふものを捕へその多くを銃殺するといふやうな状態で、これは國民を救出するのではなく國民に對する挑戰だと思つて差支へないと思ふ。

問 スターリンとブリュツヘルとの關係についてはどう考へるか、果して傳へられる如き對立關係にあるか  
答 この問題はこれを外面的に見るに平等的關係であるが如く見えるが、果してスターリンが彼に對して好感をもつてゐたからしてそれが必ずしも終局までつゞく見測出来るかどうか疑問である。ブリュツヘル對スターリンの關係は要するに相對的なものであると結論したいが、それ以上は深入りしたくない。ソ聯の軍備は東西が獨立して同時作戰を目標として整備配置されてゐるのか。  
答 先程述べたごとくスターリンは戰爭によつて活路を

開かうこの政策をこつてをり、したがつて國內は今日舉げて緊張状態にあり戰爭のための準備が大規模に實施されてをり現に赤軍は約二百萬をもつて數へられてゐる。師團數も約百、飛行機並に戰車もそれ／＼數千臺を用意してありすべての軍需品の製造能力なごも向上をはかつてをり、戰爭準備は盛んに行はれつゝあるが、スターリンの政策そのものが非常に動搖的であるがために戰爭による局面打開といふことも畢竟するに國內關係から生れてくる。要するにスターリンの政策はすこぶる危険性を持つたものである。しかも戰爭をなし得るかどうかといふことは一にその時の情勢に係る問題で確答しかねる。これを極東についていへば極東にはかなりの武力が集中されてをり、戰爭を開始するためかなりな用意があるものといはれてゐるが、果して獨立して戰爭を開始するかどうかといふことは全くその時の情勢によるものであつて、今はそれ以外に述べることは出来ぬ。

對日冒險政策

問 對蔣援助の實情はさうであるか。  
答 スターリンは支那を對日政策の武器であるといふやうに見てゐる、すなはちスターリンは日本に對する冒險的な政策の武器として支那を利用しやうとしてゐる。さうにかして日本の武力をだん／＼減退させようとするといふことに希望をかけてゐる、したがつて支那を出来るだけ自己の勢力下に握つて置かうといふことに努力をいたしてゐる、それが具體的の政策としては飛行機その他の武器の支那に對する供給、指揮幹部の派遣、さういつたことを具體的にやつてゐる、要するにスターリンの目下の對支援助についての考へは國內でつくつた武器の性能の試験をこの支那事變を利用して試みようといふのである。もう一つは多數の指揮幹部を支那に送る、といふのは要するに赤軍幹部の指揮統帥能力を向上させやうといふ目的も含まれてゐる、さういつた二

つの點から今進んで積極的な援助をやつてゐる、簡單に申上げるゝそれだけである。

問 ソ聯民衆の對日感情および排日宣傳の實際の様子はどうか。

答 前にも申したやうにスターリンは日本との戦争に對して國民を踊らすといふことに努力してゐる、排日宣傳は實に巧妙を極めてゐる、國民は全くそれによつて踊らされてゐる、恐怖状態にあるといつてよからうと思ふ、先ほ申ししたやうにこの戦争の準備状態そのものも着々進行してゐることを國民は目撃し、また日本側の積極的な行動といふやうな實情を目撃し、またすべての工業、産業その他の方面に於て種々不成績な實情にあるのをさも日本側の手によつて赤軍の戦争準備を妨害するものであるとしてむしろそれを利用する、つまり産業、軍需品製造に關する總ての缺陷があればそれらは畢竟するに日本側の手によつて戦争準備を妨害するための手段の現はれであるゝそれを捉へて宣傳する。

極東に於ける例であるが、一例を擧げるゝ實際あつたかきうか疑問であるが、ガマルニク(中史有力者)と極東との關係を捏造してガマルニクの手先によつて舊極東の共産黨中央委員の書記長であるカルレーンエフ、同じくワレーキス、ラウレーンなどはみな極東における共産黨の中央委員の書記長であつたがこれらの人がガマルニクおよびその他極東における有力者と提携して専らこの極東の軍備を破壊せんがために種々陰謀をめぐらしてゐるといふ事實をつくり上げて大規模な陰謀事件をつくり上げ弾壓を加へた。すなはちそれらはこの日本側の手先となつて極東軍兵力を弱めんがために極東赤軍の間に害毒を流すものである。そして日本側の侵略行為を有利に導かんがために種々畫策するものであるゝ宣傳して盛んに排日感情を煽つてゐる。これらの事實を捏造して専ら對日宣傳をしてゐる。

なほ事實を二、三附け加へるゝ一九三八年三月のモスコにおいて行はれた某事件の公判においても盛

んに日本側のソ聯軍の後方擾亂のための陰謀といふやうなものを捏造してその公判廷で公にして一般に知らしめるゝいふことがあつた。それからコンスタンチーノフスキといふ島(乾念子島)が黒龍江にあるが、この前のロシア側の砲艦の撃沈されたあの事件なにもむしろこの日本側の侵略的行動であるかの如くいつてゐるが、實際は滿洲の領海内においてロシアの砲艦が沈められたのである、かういふ事件があれば必ずそれを逆に利用して排日宣傳に利用してゐる。

なほブラゴエシチェンスクに於るクリノフスキの陰謀事件といふのがあつたが、この人はブラゴエの内務人民委員部の代表者であるが、これを繞る一の陰謀團を檢舉し、これらがさも自ら進んで日本側との戦争を極東において惹起しようといふことをたくらんだ、それは日本側の手によつて唆かされて行動を起したものだゝ勝手に事件をつくり上げる。

問 エレーナ夫人ならびに家族はさうなつてゐるゝと思

極東に於ける例であるが、一例を擧げるゝ實際あつたかきうか疑問であるが、ガマルニク(中史有力者)と極東との關係を捏造してガマルニクの手先によつて舊極東の共産黨中央委員の書記長であるカルレーンエフ、同じくワレーキス、ラウレーンなどはみな極東における共産黨の中央委員の書記長であつたがこれらの人がガマルニクおよびその他極東における有力者と提携して専らこの極東の軍備を破壊せんがために種々陰謀をめぐらしてゐるといふ事實をつくり上げて大規模な陰謀事件をつくり上げ弾壓を加へた。すなはちそれらはこの日本側の手先となつて極東軍兵力を弱めんがために極東赤軍の間に害毒を流すものである。そして日本側の侵略行為を有利に導かんがために種々畫策するものであるゝ宣傳して盛んに排日感情を煽つてゐる。これらの事實を捏造して専ら對日宣傳をしてゐる。

なほ事實を二、三附け加へるゝ一九三八年三月のモスコにおいて行はれた某事件の公判においても盛

ソ聯邦では法律上からいへば國外に脱出したものの妻といふものは當然檢束される、つまり逮捕されるといふことになつてゐる、それから子供はおそらくデツツキー・ドーム(育兒所)に送られてゐると思ふ、こゝに今度の問題についてはもつとも強烈な弾壓が加へられることにならうと思慮してゐる。

問 家族は何人あるか。

答 妻のほかには十一歳になる女の子が一人ある。

問 つぎにソ聯邦ミドイツミ、ソ聯邦日本はいつれが戦争の危機を孕んでゐるか、すなはちどちらの戦争が早く起るかといふことをおたづねしたい。

答 この問題は國際的に非常にデリケートな問題であつて、さちから先にいふやうなことはその時の情勢次第で極めて複雑な關係にあるのでさちからさもないまねる、この點には餘り觸れたくない。

問 夫人が子供に最後に別れた場所、日時は。

答 妻に別れたのは六月上旬で、その時妻はハバロフス



クに来てゐたが、十一歳になる娘が手術をせねばならぬ状態にあつたので妻が急いでモスコに連れて歸つた、それが最後の別れでその後の手術の経過、病状なきについては心配してゐるが何も知らない。

### 皇軍の進撃に九江は大混乱

漢口大決戦を前に、支那軍は防備に大奮であるが、九江より脱出せる一外國人は同地の状況につき次の如く語つてゐる。

九江市民は戦國が漸次接近せる爲不安を感じ續々退去しつゝ、市内には鐵條網を張廻らし、要所には土囊を積重ねてゐる、同地の守備に當れる支那兵は揚子江の南岸に沿ひ戰略上の要衝天長縣方面へ進出せんとする日本部隊を阻止せんとして頻りに準備中である、日本軍にして南昌を攻略せば直に西進して長沙を突き粵漢線を遮斷して支那軍主力を漢口より撤退するの已むなきに至らしめるであらう。

尙、九江は鄱陽湖の入口の繁華都市であり、平和時に

は殆ど二十萬の人口があつたが、現在は住民すべてが、支那兵の横行を避けて粵漢鐵道地帯の西方へ逃げたので、市内は沙漠の如き感がある云はれてゐる。

### 西沙島問題に關する香港漢字紙の論調

フランスの強硬態度を希望し

自國の無力なることを暴露す

フランスの西沙島占據に關し、十一月の香港各漢字紙論調は大要左の如く一致してゐる。

「西沙島は支那の領土なること疑ひなきも、佛國の意圖が悪意にあらず日本の侵略に對抗するにある以上、同島保衛の實力なき支那としては、佛國の行動に干渉を避けつ、日本を牽制せしめ日佛衝突に誘引する方得策なり、又同島に關する交渉は佛支間の問題にして日本の容喙を許さず、其の佛國に對する抗議は俄かに日佛軍事衝突の情勢には到らざるべきも、佛國の態度強硬なりしことを望む」。

然し乍ら、かくの如き論調は要するに支那の傳統的外交政策たる「以夷制夷」の表明であつて、何等フランス

に好意を示すものに非ず、自國の如何に無力なるかを示したものに他ならない。

### 國府米に對しても

#### 二億米弗の借款を持出す

最近サイモン英國蔵相は國民政府の對英二千萬磅借款について否認的答辯をなしたが、實は之は相當突進んだところまで話が進められてゐたものの如くで、國民政府は之と同時に米國に對しても亦總額二億米弗程度の借款を持出し、之が擔保としては國民政府が現にニューヨークに於いて保有する在外現銀を提供せんとの意向を示してゐることも傳へられる、而して國民政府はこれ等諸國に對する金融援助申込みに際しては、列國の關心淺からざる法幣の維持に必要な理由を擧げこれを好餌に列國を思ふ慮にはめ、國民政府はこれによつて法幣の維持資金を獲得して對外信用を繋ぎ止めることにも武器彈藥購入資金をも捻出せんとの一石二鳥の策に出たものと解せられる。

一方、列國としては法幣の維持については利害關係極めて深いため、そのための資金提供は必らずしも本意でないが、これ等資金が武器彈藥の購入其他抗戰目的に向けられる場合には、徒らに國民政府の抵抗力を援け自國權益が益々脅かされることを豫想し、何等かの方法による國民政府在外資金の國際的管理又は監査を要求し、以てこれ等資金を法幣維持以外の目的に利用されることを防止せんとの態度に出てるもの如くである。

この結果、國民政府内部に於いては焦土抗戰派と法幣維持派との間に可成り深刻なる摩擦を生じ、これらもに列國亦法幣維持のために國民政府を援げんか、或は國民政府支援を中止せんがためには法幣をも見捨てるかの點について相當眞剣なる考慮が廻らされてゐるものも見られる。最近上海に於いて香港上海銀行其他英米銀行が法幣維持のマーケットオペレーションに乗出してゐるもの如く推察される點より推して、列國の出方如何は頗る注目を惹いてゐる。

事変日誌



六月二十六日

1. 娘々廟の敵砲臺を攻略せる我が軍は更に猛進を續け馬頭鎮要塞(武漢三鎮の敵第一總)を占領せり。
2. 我が空軍の活躍、
  - イ 陸軍飛行隊山西北方の衙前街附近の敵大部隊を爆撃。
  - ロ 海軍航空隊廣東、潮州、海南島榆林港砲臺を爆撃。
  - ハ 陸海空軍部隊南昌を襲撃敵數十機を撃破。
3. 駐支大使トラウトマン氏の歸國を機にドイツに於ては日本を盟主とする極東政策の確立を見るべく觀測せられ居れり。

六月二十七日

1. 竹田宮故恒久王妃昌子内親王殿下には海路御安らかに基隆に御着き遊ばされたり。
2. 徐州敗殘の支那軍又も大運河の堤防を破壊、江蘇省北部一帯の沃野を水底に没せり。
3. 山西省公署成立式並に省長就任式舉行愈々日支協力樂土山西の建設に邁進せり。

六月二十八日

1. 我が工兵隊の決死的作業により大運河堤防の修復成功せり。
  2. 非人道の支那軍又も悪性の毒瓦斯を使用し始めた。
  3. 漢口の危機切迫と共に在留外人二百五十名急遽香港に引揚げたるを以て同地民衆は異常なる衝動を受け恐怖状態を現出しつゝあり。
- 六月二十九日
1. 我が高橋佐藤部隊膠濟を占領せり。
  2. 海の荒鷺安慶下流沿岸各地の敵及び隴海線海州附近

近の残存部隊を爆撃せり。

六月三十日

3. ケンソ比島大統領來朝せり。
1. 竹田宮恒徳王殿下には今回在滿部隊の要職に就かせられ本日御恙なく御任地に到着遊ばされたり。
2. 潜山西北方の敵を攻撃中の我が軍は遂に五家牌樓一帯の敵陣地を占領せり。
3. 我が軍東平湖(山東省)北端の要衝東阿縣城を占領せり。
4. 陸軍飛行隊洛陽(隴海線西段の要衝)停車場を爆撃せり。
5. 海軍航空隊引續き南支を攻撃粵漢線及び廣東附近を爆撃せり。
6. 板垣陸相の戦争論中「支那事變は大陸に於ける長期建設である」は事變處理の根本方針を告唆するものとして一般に注目され居れり。

七月一日

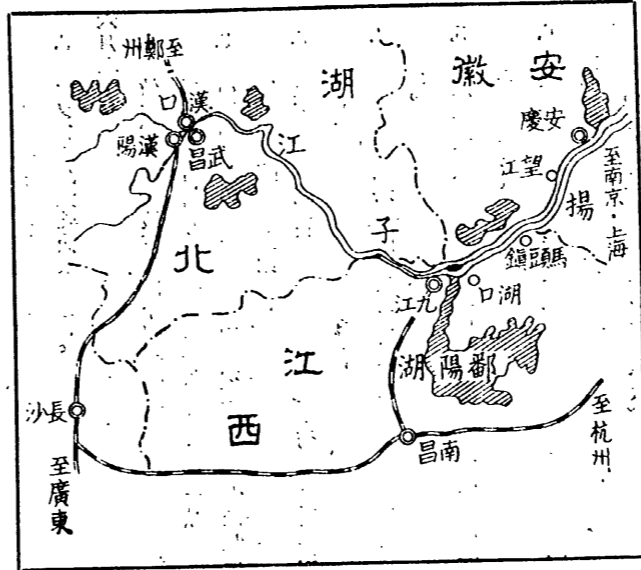
1. 徳王新に蒙古聯盟自治政府の主席に就任せり。
2. ソ聯内務人民委員部極東政治部總指揮官リュシユ

七月二日

- フ大將は去る六月十三日滿洲國に逃入抑留せられたり。
1. 我が軍考城、單縣、馬良集の敵陣を占領。徐州戦後隴海以北の三角地帯に侵入蠢動しつつありし敵敗走部隊を最後のに殲滅せり。
  2. 海軍航空隊九江上流に於て支那軍艦隊を爆撃又南支に於ては粵漢線英德、福州兵工廠、馬尾造船所、汕頭、潮州市政府を爆撃せり。
  3. 暴戾なる支那軍又も望江の西南に於て揚子江の堤防を決潰、水速五節の濁流は黃湖、泊湖に奔流しつつあり。
  4. 北支戦線に武動赫々たる磯谷中將凱旋せり。

七月三日

1. フランス政府は海南島東南の西沙島(パラセル群島)を占領せる旨イギリス政府に正式通告を發せる模様なり。
2. 北支全戦線を馳騁し無敵皇軍の名を轟かせし土肥原中將凱旋せり。



3. リ大將の脱出事件により苛酷なるソ聯の肅清工作の  
内情暴露され各方面に深刻なる衝動を興へ居れ  
り。

七月四日

1. 我が高橋、佐藤部隊湖口を占領せり。  
同地は揚子江岸に於ける海軍根據地にして鄱陽湖  
の咽喉を扼し南昌、九江への前進基地たり。
2. 我が海軍航空隊南昌を襲撃敵五十一機を撃破せ  
り。我が方一機も未だ歸還せず。
3. アンソニー大使西沙島問題に關し、我が外務省を  
訪問せり。

七月五日

1. 伏見軍令部總長宮殿下には去る四日の南昌に於け  
る我が空軍の赫々たる戦果を嘉せられ及川長官に  
對し御祝電を御發送遊ばされたり。
2. 我が軍湖口附近の殘敵掃蕩を完了晴れの入城式を  
舉行せり。
3. 陸の軍信陽を奇襲、海の荒鷲大湖を襲撃、夫々敵  
に多大の損害を與へたり。
4. 關封東北方黄河右岸の敗敵を掃蕩中の我が軍東明  
を占領せり。
5. 日滿伊通商協定本日東京にて調印を了せり。  
(以下次號)

部報 昭和十三年九月二十日第三十二號  
昭和十三年七月二十日發行  
(每月一日、十一日、廿一日發行) 第三十二號

昭和十三年七月二十三日印刷  
昭和十三年七月二十五日發行  
(月三回發行)

臺灣總督府臨時情報部

印刷人 臺北市榮町三丁目十五番地  
加藤 豊吉

印刷所 臺北市茨町二丁目四十三番地  
小塚本店印刷工場